|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **議事録** | | | | | |
| 件　名 | 試験計画書外部レビュー | | | | |
| 開催日時 | 2024年10月7日（月） | 場　所 | teams | | |
| 出　席　者  (敬称省略) | 【鈴木　崇志】  【瓜生壮一郎様】 | | | 確　認 | 記　録 |
|  |  |
| 【議　題】   1. 進捗状況の報告 2. 結合試験計画書兼結果書のレビュー 3. 質疑応答 4. ItemsDAOクラスの単体試験計画書兼結果書のレビュー 5. その他   **【議 事 内 容】**   1. 進捗状況の報告   (1). WBSの状況  　　・内部設計：予定通り10月2日（水）をもって作成完了  　　・試験計画書：10月2日（水）より作成開始  　　→修正後WBSの予定通りに作業は進んでいる。   1. 結合試験計画書兼結果書のレビュー   ・記載内容はよい  ・検索ボタン押下時のテストケースを以下の4ケースに細分化をすること  　(1). キーワード検索  　(2). カテゴリ検索  　　　a. すべて  　　　b. 帽子  　　　c. 鞄   1. 質疑応答 2. findByIdメソッドは単体試験計画書兼結果書の納品物の範囲に含まれるか   →厳密には含まれる。   1. 画面遷移の確認方法は以下の2つのうちどちらで行えばよいか   ・画面遷移のみの確認でよく、遷移後の表示内容は確認しない  ・画面遷移と遷移後の表示内容の確認まで行う  →本研修生は結合試験においては前者よい。後者は総合試験にて確認する   1. 結合試験におけるページング処理の確認方法   →リンクの活性、不活性で判断   1. 総合試験計画書兼結果書の範囲にメイン画面から各仮面への遷移は含まれるか   →含まれる   1. 検索結果の取得順に関して   要件定義時に、検索結果の取得順に関する取り決めをしていないため、単体試験において十分な確認ができない可能性がある。どちらの対応を取ればよいか  ・要件定義まで要件定義書の変更を行う（時間的に難しい）  ・現在の要件定義のまま進める（今後の反省点とする）  →後者   1. キーワード入力に関して   テキストボックスに空白が入力されたときの対処法に関して要件定義段階で詰められていなかった  →(5)同様に対応する | | | | | |
| 1. ItemsDAOクラスの単体試験計画書兼結果書のレビュー   (1). テストケースは正常系・異常系を洗い出せており問題ない  　　(2). テスト内容も大きくずれたテストにはなっていない  　　　　→DAOの正常系に対するテストとして、リストの要素数を確認するのは有効な手段である。  　　　　→本来であればDTOのテストも行うため、DTOのsetter、getterのテストと組み合わせて、検索が正しく行えているか判断できるため  　　(3). テスト区分の小分類をデータセットに変更し、データシートを記載するのはあり   1. その他   (1). クラス図  　　Utilクラスの線は、依存関係を表す線でよい  (2). WBSの修正は行わない  　　　　理由：振り返りの中で、予定に対してどの工程がどれだけ遅れたか、または前倒しになったかを確認するため  - 以上 - | | | | | |